

平成20年度香小研国語部会研究テーマ

香川県小学校教育研究会国語部会

1 平成20年度の研究テーマについて

(1) 研究テーマについて

改訂指導要領の趣旨に沿った国語科学習の在り方
知識・技能を習得し、活用する学習の構築

昨年10月24日に公表された平成19年度全国学力・学習状況調査について、文部科学省初等中等教育局学力調査室は、小学校国語に関する調査結果の概要を次のように総括した。

- < 「知識」に関する問題の結果^{*1} >
相当数の小学生が今回出題した学習内容をおおむね理解している（平均正答率：81.7%）。
< 「活用」に関する問題の結果^{*2} >
知識や技能を活用する力に課題がある（平均正答率：約63.0%）。

また、香川県教育委員会は平均正答率が国語A全国第5位、国語B全国第2位という結果であった本県の結果に対して、次のような談話を発表した。

- < 「知識」に関する問題の結果 >
漢字の読み書きなどの「言語事項」が87.9%、目的に応じて文章を書き替える「書く力」が86.4%で多くの児童がおおむね学習内容を理解している。一方、一文で書かれた内容を理解し二文に書き替えるなど「読む力」、「話す・聞く力」は60%台で、さらなる基礎知識・技能の習得が必要。
< 「活用」に関する問題の結果 >
平均正答率は68%で、全国平均を上回っているが、「読む力」（64.2%）、「書く力」（67.8%）で知識を活用する力に課題がみられる。

これらの結果は、平成15年度実施の全国教育課程実施状況調査やPISA2003で見られたものと同様であったといえよう。

調査結果が公表された当初は、各都道府県の一喜一憂する声が新聞紙上を賑わせた。多くの学校においても同様の声が聞かれたであろうことは、想像に難くない。しかしながら、そもそも本調査の目的は「子どもの学力の現状を把握・分析することにより、今後の学習改善を図っていくこと」にある。

*1 「知識」に関する問題：身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容。実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など。

*2 「活用」に関する問題：「活用」に関する問題の結果：知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容。様々な課題解決のために構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容など。

例えば，国語 A 5 は次のような問題であった。

次の□の中の一——部には，二つの内容がふくまれています。「ごん」を主語にして，二つの文に分けて書きましょう。

ごんは，ひとりぼっちの小ぎつねで，しだのいっばいしげった森の中に，あなをほってすんでいました。そして，夜でも昼でも，辺りの村へ出てきて，いたずらばかりしました。

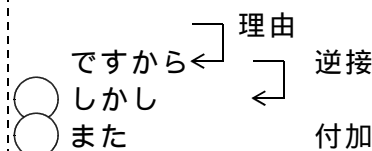
にいみなんきち
(新美南吉「ごんぎつね」による)

この問題の平均正答率は，全国，香川県ともに低く，課題となっている。そして，今後の学習指導改善のポイントとして，「2つの内容を1文にまとめたり，1文を内容ごとに分けて書き換えたりする言語活動の充実を図る^{*1}」ことが求められている。

では，実際の授業の中では，具体的にどのような学習場面が考えられるであろうか。
例えば，段落の要点をつかむ学習場面での指導である。

11 ヤドカリに付いていないベニヒモイソギンチャクは，ほとんど動きません。 ですから，えさになる魚やエビが近くにやってくるのを待つしかありません。 しかし，ヤドカリに付いていれば，いろいろな場所に移動することができるので，その結果，えさをとる機会がふえます。 また，ヤドカリに付いていると，ヤドカリの食べ残しをもらうこともできるのです。 4年「ヤドカリとイソギンチャク」(東京書籍より)

この段落内の文と文の関係は，次のようになっており，中心文は と である。したがって，この段落の要点を短くまとめようとする時， と の2つの文を1つの文にまとめることになる。その際には，主語を補ったり，重複した言葉を省かなければならない(「ベニヒモイソギンチャクは，ヤドカリに付いていれば，えさをとる機会がふえるし，ヤドカリの食べ残しをもらうこともできる。」)。



また，授業中の話し合いの場面での指導も考えられる。授業中に話し合いをしていると，「私はAだと思うし，それにBも～」「私は～だと思います。その理由はCで，Dののことも考えると...」のような1文が長い発言に出くわすことがよくある。前者は1文の中で複数の意見を述べており，後者は1文の中で複数の理由を述べている。このようなとき，一文一義の内容に改めさせる指導が必要である。例えば，聞き手に「いくつの意見(理由)をいいましたか。」，話し手に「ラベリング，ナンバリングをして話しましょう。」のような助言である。

文部科学省が今年3月28日に告示した小学校学習指導要領においても，次のように述べられている。

...創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で，基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ，これらを活用して課題を解決するために必要な思考力，判断力，表現力その他の能力をはぐくむとともに，...
(「小学校学習指導要領 総則 第1 教育課程編成の一般方針 1」より)

...各教科等の指導に当たっては，児童の思考力，判断力，表現力等をはぐくむ観点から，基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動を重視するとともに，...
(「小学校学習指導要領 総則 第4 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項 2(1)」より)

これを見ても，改訂学習指導要領が「知識・技能」「活用」の視点を重視していることが理解できよう。

* 1 : 文部科学省・国立教育政策研究所は全国学力・学習状況調査の結果とともに，学習指導改善のポイントを公表した(P3参照)。

香川県検証改善委員会が「香川県小中学校改善プラン」を作成。「知識・技能」「活用」に関して以下のようにまとめている。

基礎的・基本的な言語活動や言語事項に関する知識・技能のうち，全国調査の結果で特に課題が見られた文の構成についての理解・・・については，例えば，以下のような指導改善が必要である。

文の構成についての理解

文章中の文を取り上げ，2つの内容を1つの文にまとめたり，1つの文を内容ごとに分けて書き換えたりする言語活動などを通して，文の構成についての理解の定着を図る。

(「改善の方向と今後の取組 1 確かな学力の育成 (1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得」より)

今回の調査結果で課題となった，知識・技能の活用など思考力・判断力・表現力を育むためには，例えば，国語，算数・数学において，次のような学習活動の充実が必要である。

文章を要約したり，条件に即して書き換えたりする言語活動の充実

- ・理由を説明するために，本文から必要な情報を取り出し，要約する言語活動を充実する。
- ・字数や表現様式などの与えられた条件に即して書き換える言語活動を充実する。

収集した情報をよりの確に整理して自分の考えを書く言語活動の充実

- ・根拠を明らかにして書く力や論理の展開の仕方などを工夫して書く力を高めるために，図やグラフなどを含めた多様な素材を学習に用いることを今後も重視する。
- ・収集した情報を整理し，目的に応じて活用する力をさらに身に付けるためには，複数の資料を比較して，その共通点や相違点を整理しながら自分の考えを書きまとめる言語活動を充実する。

場面から情報を読み取り，問題解決のために必要な情報を選択する活動の充実

- ・情報過多の場面や課題から，問題解決のために必要な情報を選択して考える活動の充実を図る。

結論が成り立つ理由を説明するために何を示せばよいかを構想する活動の充実

- ・事柄が成り立つことを証明するために，結論となる事柄を明確にし，それが正しいことを説明するためには何が必要かを逆向きに考えるなどして，見通しをもって説明を構想し，評価・改善する活動を充実させる。

(「同 (2) 思考力・判断力・表現力等の育成」より)

そこで，平成20年度は前掲の研究主題のもと，「知識・技能の習得，活用」を視点に，研究を進めていきたいと考えたのである。

(2) 研究の切り口について

研究の切り口としては，これまでの研究内容「目標レベル」「単元レベル」「指導レベル」「評価レベル」を踏襲する。そして，それぞれのレベルにおいて改訂学習指導要領案を参考にしながら，授業構築を図る。

領域構成...「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の新設

領域

「話すこと・聞くこと」

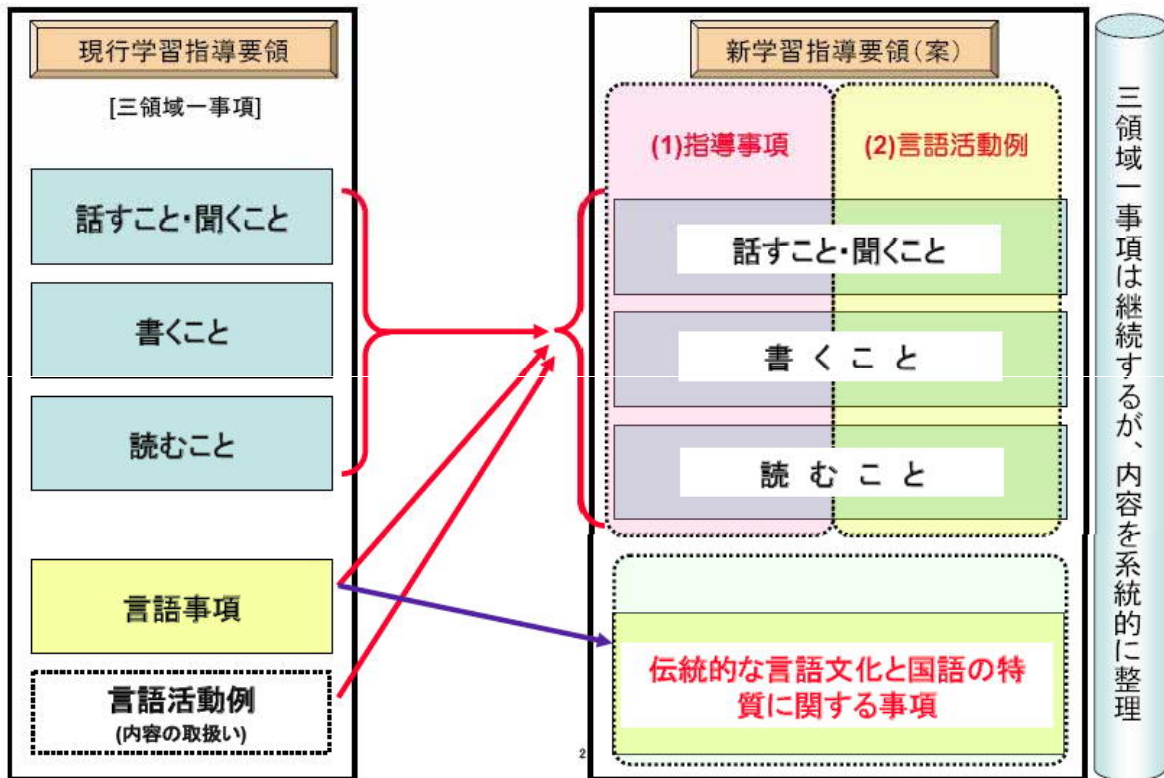
「書くこと」

「読むこと」

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(伝統的な言語文化，言葉の特徴やきまり，漢字，書写)

小中学校国語科・学習指導要領改訂イメージ



(文部科学省「小学校学習指導要領案関連資料」より)

言語活動例の格上げ(「内容の取り扱い」から「内容(2)」に)

	話すこと・聞くこと(2)	書くこと(2)	読むこと(2)
第1学年及び第2学年	ア 事物の説明や経験の報告をしたり、それらを聞いて感想を述べたりすること。 イ 尋ねたり応答したり、グループで話し合っって考えを一つにまとめたりすること。 ウ 場面に合わせてあいさつをしたり、必要なことについて身近な人と連絡を合ったりすること。 エ 知らせたいことなどについて身近な人に紹介したり、それを聞いたりすること。	ア 想像したことなどを文章に書くこと。 イ 経験したことを報告する文章や観察したことを記録する文章などを書くこと。 ウ 身近な事物を簡単に説明する文章などを書くこと。 エ 紹介したい事をメモにまとめたり、文章に書いたりすること。 オ 伝えたい事を簡単な手紙に書くこと。	ア 本や文章を楽しんだり想像を広げたりしながら読むこと。 イ 物語の読み聞かせを聞いたり、物語を演じたりすること。 ウ 事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと。 エ 物語や、科学的なことについて書いた本や文章を読んで、感想を書くこと。 オ 読んだ本について、好きなどころを紹介すること。
第3学年及び	ア 出来事の説明や調査の報告をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。 イ 学級全体で話し合っって考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること。 ウ 図表や絵、写真などから	ア 身近なこと、想像したことなどを基に、詩をつくったり、物語を書いたりすること。 イ 疑問に思った事を調べて、報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したりする	ア 物語や詩を読み、感想を述べ合うこと。 イ 記録や報告の文章、図鑑や事典などを読んで利用すること。 ウ 記録や報告の文章を読んでまとめたものを読み

第4学年	読み取った事を基に話したり，聞いたりすること。	こと。 ウ 収集した資料を効果的に使い，説明する文章などを書くこと。 エ 目的に合わせて依頼状，案内状，礼状などの手紙を書くこと。	合うこと。 エ 紹介したい本を取り上げて説明すること。 オ 必要な情報を得るために，読んだ内容に関連した他の本や文章などを読むこと。
第5学年及び第6学年	ア 資料を提示しながら説明や報告をしたり，それらを聞いて助言や提案をしたりすること。 イ 調べたことやまとめたことについて，討論などを行うこと。 ウ 事物や人物を推薦したり，それを聞いたりすること。	ア 経験したこと，想像したことなどを基に，詩や短歌，俳句をつくったり，物語や随筆などを書いたりすること。 イ 自分の課題について調べ，意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること。 ウ 事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書くこと。	ア 伝記を読み，自分の生き方について考えること。 イ 自分の課題を解決するために，意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること。 ウ 編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読むこと。 エ 本を読んで推薦の文章を書くこと。

「話すこと・聞くこと」(1)

- ・ 話題や取材についての指導事項の新設...指導事項ア
- ・ 現行の言語事項の内容の位置付け...指導事項イ，ウ

付加・変更された箇所を抜粋

	ア(話題や取材), イ, ウ 話すこと	エ 聞くこと	オ 話し合うこと
1・2年	ア 身近な事や経験したことなどから話題を決め，必要な事柄を思い出すこと。 イ 相手に応じて，話す事柄を順序立て，... ウ ...声の大きさや速さ(などに注意して)，...		オ 互いの話を集中して聞き...
3・4年	ア 関心のあることなどから話題を決め，必要な事柄について調べ，要点をメモすること。 イ ...理由や事例などを挙げながら... ウ 相手を見たり，言葉の抑揚や強弱，間の取り方などに注意したりして話すこと。	エ ...質問をしたり感想を述べたりする...	オ ...司会や提案などの役割を果たしながら，進行に沿って話し合うこと。
5・6年	ア 考えた事や伝えたいことなどから話題を決め，収集した知識や情報を関係付けること。 イ 目的や意図に応じて，事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら，...	エ (意図を)とらえながら聞き，自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。	オ 互いの立場(や意図をはっきりさせながら...)

「書くこと」(1)

- ・ 交流についての指導事項の新設...指導事項カ
- ・ 現行の言語事項の内容の位置付け...指導事項イ，ウ，エ

付加・変更された箇所を抜粋

	ア 題材・取材	イ 構成	ウ, エ 記述	オ 推敲	カ 交流
1・2年	ア 経験したことや想像したことなどから書くことを決め...	イ ...事柄の順序に沿って...構成...	ウ ...(続き方に)注意しながら，つながりのある文や文章(を書くこと。)	エ ...間違いなどに気が付き，直すこと。	オ 書いたものを読み合い，よいところを見つけて感想を伝え合うこと。

3・4年	ア 関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べること。	イ (... 段落相互の関係) などに注意して文章を構成すること。	ウ (... 中心を) 明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて...	オ 文章の違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること。	カ 書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うこと。
5・6年	ア 考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること。	イ (... 文章全体の) 構成 (の効果を考えること)	エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。		カ 書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと。

「読むこと」(1)

- ・ 交流についての指導事項の新設...指導事項オ
- ・ 本や文章を選ぶことについての指導を明記...指導事項カ

	ア音読	イ叙述に即した読み	ウ想像的な読み	エ目的的な読み	オ交流	カ読書的な読み
1・2年	ア 語のまともりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。		ウ ... 登場人物の行動を中心に...	エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。	オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。	カ 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。
3・4年	ア ... 音読 (すること。)	イ ... 事実と意見との関係を考え...	ウ (場面の移り変わり) に注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化 ...	エ ... 必要に応じて、文章の要点や ... 文章などを引用したり要約したりすること。	オ 文章を読んで考えた事を発表し合い...	カ 目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと。
5・6年	ア 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。	イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど ...	エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。	ウ ... 目的に応じて、文章の内容を的確におさえたり、事実と感想、意見などとの関係をおさえ、自分の考えを明確にしながらかんたりにすること	オ 本や文章を読んで考えた事を発表し合い、 ...	カ 目的に応じて、複数の本や文章などを比べて読むこと。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ・ 【古典】ことわざ、故事成語、伝説、古文・漢文の音読など古典に関する指導を充実。
- ・ 【漢字】学年別漢字配当表以外の漢字の提示には、振り仮名を付けるなど、漢字を読む機会を充実 (交ぜ書き ルビ付き表記へ)。
- ・ 【ローマ字】現行の4学年から3学年に移行。

指導事項の詳細は略

2 研究内容

研究テーマ 改訂指導要領の趣旨に沿った国語科学習の在り方
知識・技能を習得し，活用する学習の構築

目標レベル	<p style="text-align: center;">到達目標の明確化</p> <p>指導事項と言語活動を関連づけた目標の設定</p> <p>(1)指導事項に基づく到達目標の設定とそれを具現化する(2)言語活動「知識・技能の習得」「活用」の視点からの到達目標の設定</p> <p>「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」における目標の設定</p> <p>伝統的な言語文化，言葉の特徴やきまり，漢字，書写</p>
教材・単元 レベル	<p style="text-align: center;">到達目標を具現する教材開発・単元開発</p> <p>「知識・技能の習得」「活用」のバランスの取れた教材化</p> <p>例) 低学年...見たことや知らせたいことを記録し説明や紹介をしたり，体験したことを報告したりする。</p> <p>中学年...調べたことや観察・実験したことを記録・整理し，説明や報告にまとめて書き，資料を提示しながら発表する。</p> <p>高学年...目的に応じて自分の立場から解説や意見，報告を書き，理由や根拠を示しながら説明するとともに，自らの言語活動を振り返る。</p> <p>単元化における「知識・技能の習得」と「活用」型学習の構成・配列</p> <p>「言語文化と国語の特質に関する事項」に関する教材開発</p>
学習指導レベル	<p style="text-align: center;">きめ細かな支援の在り方</p> <p>1 単位時間における「知識・技能の習得」「活用」型学習の在り方</p> <p>双方向性のある，建設的な合意形成を目指したコミュニケーション</p> <p>子どもの思考・認識を深める視覚化・操作化資料，板書，ノート指導</p> <p>学習の見通しを立てたり，振り返ったりする（メタ言語活動）活動の場</p>
評価レベル	<p style="text-align: center;">評価項目，評価規準，評価方法の改善</p> <p>一人一人を適切に評価し，支援へと生かしていく評価項目，規準及び，評価方法</p>

3 研究における留意点等

(1) 実践発表における学年，単元(領域)のバランス確保

昨年度の夏季研では，単元・学年という視野に立ったトータルとしてのカリキュラムを構築していくことで国語力が身に付くという考え方に立ち，これまでに実践研究が不足している学年，単元(領域)の提案を行っていただいた。夏季研後のアンケートでも多くの先生方から，「実践研究のバランスを取るという視点はよい。」という感想をいただいた。

来年度もこの考え方は踏襲したい。

(2) 夏季研，香小研大会，四国大会，郡市の研究会の実践のWEB公開...別紙参照

昨年4月に実施された全国学力・学習状況調査において，本県の平均正答率が国語A全国第5位，国語B全国第2位であったということは，香川県下の先生方のこれまでの地道な実践が実を結んだものであるといえよう。香川県の教師は，自らの授業力を誇ってよいと思う。

中でも，国語部会の会員による授業実践はレベルが高い。全国を回っておられる文部科学省井上一郎教科調査官も同様のことをおっしゃっていた。

そこで，20年度こそは実践研究をWEB公開し，これまで香小研国語部会が積み上げてきた宝物が国語部会員以外の先生方にも利用できるようにしたい。

そうなれば，さらなる香川県下の国語力向上に寄与するに違いない。

(3) 平成20年度の夏季研修会

日時 平成20年7月25日(金) 9:00～16:00

場所 アイレックス(丸亀市)

(4) 四国大会

20年度はない(次回は21年度徳島大会)。

(5) 研究冊子「国語科教育」

廃刊する。ただし，各郡市のあゆみ，各郡市の授業研に関する資料や情報をWEB公開する予定。

(6) 香川県検証改善委員会

香川県教育委員会義務教育課からの委託。全国学力・学習状況調査の結果を分析・活用し，学校改善につながる「学校改善支援プラン」を作成。今年度の夏季研において，各教科1名が登壇し，「全教科で取り組む言語力の育成」というテーマでパネルディスカッションを行う。

【年間計画】

月	年 間 の 見 通 し
5	<p>総会・理事会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究主題，研究方法等 ・夏季研について ・実践発表における留意点
6	<p>夏季研の打ち合わせ</p>
7	<p>夏季研</p>
8	<p>夏季研で発表した資料，成果と課題をデータで事務局へ</p>
9	<p>夏季研の反省</p> <p>「実践発表・提案における仮規定」の修正</p>
11	<p>研究推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度香小研テーマ，研究方法等 ・夏季研の持ち方 ・夏季研における各郡市の提案単元・学年について
12	<p>郡市研における指導案，討議等のデータを事務局に提出。</p>
2	<p>来年度の研究について</p>